

サルにご注意ください！

最近、井原市東江原町や下稲木町等で、サルを目撃情報が多くなっています。被害が発生する前に、きちんと対策を行うことが重要です。対策というと難しく聞こえるかもしれませんが、簡単にできる対策もあり、それをみんながやることが非常に大切です。

みんなで協力して、地域をサルの被害から守りましょう！

サルはどんな動物？

○群れで行動

サルは群れで行動します。メスのサルは生まれた群れで一生生活し、群れはメスを中心に作られます。オスのサルは、メスたちに合わせて行動しながら外敵から守る用心棒的な役割を果たします。オスは生まれた群れを出て、しばらく放浪して別の群れに入ったり、出たりします。オスが放浪しているときに、ハナレサルや数頭のオスグループとして出没することがあります。

○記憶力が良い

おいしい食べ物の場所はしっかりと覚えます。また、怖くない人のことなんかも覚えます。ただし、他のサルのまねをしたり、サル同士が協力して行動したりすることはできません。

○目は利くけど、鼻や耳はそれほどでもない

においや音にはあまり敏感ではありません。人間並みです。音やにおいを使ったサル対策はあまり効果がないと言われています。

どんな被害が起きているの？

○農作物への被害

畑の野菜や木になっている果物を食べます。家の外に干してある玉ねぎなんかも食べます。

○家屋への被害

屋根に上がる時に雨どいを壊したり、屋根に上がって瓦をずらしたりすることがあります。

どういうふうに対策をすればいいの？

○できることから

サル被害を減らすためには時間がかかります。

途中で息切れしないためにも、できることから着実に始めましょう。

○地域をサルのエサ場にしない

サルは、取り残した野菜や捨てられた野菜くず、誰も収穫しないビワやカキ、みかんなどの果物やお墓のお供え物などもエサにします。自分にとって必要ないから、ゴミだからといって放置するのは、自分たちでサルを呼び寄せているようなものです。みんなで協力して、サルのエサを減らしましょう。

○柵を作ってサルの侵入を邪魔する障害物を増やす

畑の周りに柵を作ることも有効です。仮に侵入を防げなくても、畑に侵入するのに時間がかかれば、サルはそれだけで嫌がります。柵は、侵入防止というよりも、侵入に手間取る障害物という考え方で、サルが侵入に手間取っている間に追い払いをしましょう。

○サルの目から食べ物を隠す

柵を作るのと合わせて、サルの目から食べ物を隠しましょう。守りたい野菜の周りに、トウガラシやシソやニラなどサルが嫌がる野菜や背の高い観賞用の花を植えて、サルの興味をそらすと効果的です。

○畑の周りの見通しを良くする

サルは森で生活する動物なので、見通しが良いひらけた場所を警戒します。

藪や草が茂っている場所はサルの隠れ場所になるので、きれいに切り払って見通しを良くしましょう。

○サルを追う払う！人に慣れさせない！

サルは記憶力が良い動物です。一度人間が怖くないと覚えてしまうと、どんな対策をしても効果が上がりません。たとえ大切な野菜や果物に被害がなくても、サルが出たときには必ずみんなで徹底して追い払って、人に慣れさせないようにしましょう。

○対策は合わせ技で、みんなでやる

柵を作っただけで追い払いをしなければ、サルは柵に慣れて簡単に侵入するようになります。柵を作って、追い払いしても、カキやクリなどの放置果樹や野菜くずなどエサとなるものが残っていれば、サルを呼び寄せてしまいます。また、これらの対策を一人だけが行っても、サルは他の畑や放置果樹を狙って結局人里に出てきます。

サル対策は、どれか一つの対策を一人だけがやれば被害が無くなるというものではありません。エサ場にしない、障害物を増やす、追い払うといった様々な対策を並行して同時に、一人ではなく地域みんなで協力して、できることから着実にやってこそ効果が表れます。みんなで協力して対策に取り組みましょう！

サルに遭遇したら？

追い払いをするときは、一人でなくできるだけたくさんの仲間を集めて、複数でしっかりと追い払うのが効果的です。

しかし、一人のときやサルが威嚇して向かってきて怖いと感じた場合、追い払いはやめましょう。そういう場合には、むやみに近づかず、サルから目をそらして、直接目を合わせないようにしながら、静かに速やかに遠ざかりましょう。

- 不用意にサルに近づかない
- エサをあげようとしない
- 大声をあげたり、石を投げたり、棒をふりまわしてサルを興奮させない
- サルの目を見ない
- 威嚇されても走って逃げない
- 噛まれたり、引掻かれたらすぐ病院へ
- 警察でなく市町村に通報を（情報の一元化）